



平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月10日

上場会社名 株式会社歌舞伎座 上場取引所 東
 コード番号 9661 URL http://www.kabuki-za.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 信義
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高橋 克彦 (TEL) 03-3541-5572
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	1,413	506.0	175	—	188	—	120	—
25年2月期第1四半期	233	32.5	△59	—	△42	—	△37	—

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 14百万円(—%) 25年2月期第1四半期 △133百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	9.98	—
25年2月期第1四半期	△3.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第1四半期	27,714	8,941	32.3
25年2月期	27,800	8,989	32.3

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 8,941百万円 25年2月期 8,989百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,832	561.7	421	—	429	—	264	—	21.80
通期	5,386	538.9	812	—	805	—	491	—	40.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

当第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に該当します。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期1Q	12,170,000株	25年2月期	12,170,000株
26年2月期1Q	61,294株	25年2月期	60,879株
26年2月期1Q	12,108,792株	25年2月期1Q	12,110,734株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の背景、前提条件等につきましては、本日別途公表いたしました「個別業績予想の修正並びに連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 会計方針の変更等	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却と円高是正を目的とした経済政策・金融政策等の効果により、円高修正や株高を起点とした景気の自律的な回復が期待される状況で推移いたしました。

また当社グループにおきましては、平成25年2月に主たる事業所である劇場歌舞伎座の建替え工事を完了し、3月1日に木挽町広場(地下広場)をオープン、4月2日には劇場歌舞伎座も開場いたしました。このような情勢のもと、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,413,917千円(前年同期比506.0%増)、営業利益は175,426千円(前年同期は59,701千円の営業損失)、経常利益は188,967千円(前年同期は42,765千円の経常損失)、四半期純利益は120,877千円(前年同期は37,080千円の四半期純損失)となりました。

これをセグメント別にみると、不動産賃貸事業については、新劇場及び木挽町広場店舗等の賃料収入により、売上高が429,331千円(前年同期比212.6%増)、セグメント利益は201,296千円(前年同期比544.3%増)となりました。

食堂・飲食事業については、新規店舗の増加により、売上高は250,287千円(前年同期比194.6%増)となりましたが、当セグメントにおいて重要な劇場内店舗の営業期間が2か月(劇場開場が4月)であったこと等によりセグメント損失は38,642千円(前年同期はセグメント損失3,127千円)となりました。

売店事業については、木挽町広場の新店舗及び劇場内の売店等が好調に推移したことにより売上高は734,298千円(前年同期は11,000千円)、セグメント利益は148,224千円(前年同期は2,086千円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ85,509千円減少し、27,714,622千円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ16,846千円増加し、1,294,601千円となりました。主な要因は、現金及び預金、売掛金等の増加であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ102,355千円減少し、26,420,020千円となりました。主な要因は、投資有価証券の時価評価による減少であります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ145,667千円増加し、1,441,529千円となりました。主な要因は、買掛金、前受金の増加であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ182,943千円減少し、17,331,611千円となりました。主な要因は、流動負債への振替による長期借入金、長期前受金の減少であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ48,233千円減少し、8,941,481千円となりました。主な要因は、有価証券の時価評価したことによる投資有価証券評価差額金の減少であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期並びに通期の業績予想の詳細につきましては、本日別途公表いたしました「個別業績予想の修正並びに連結業績予想に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より有形固定資産の減価償却方法を変更しております。なお、この変更を行った理由及び当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は8ページ(4)会計方針の変更等、セグメントに与える影響額は8ページ(5)セグメント情報等に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	606,385	1,094,333
受取手形及び売掛金	22,429	88,963
たな卸資産	19,263	36,972
未収消費税等	591,550	—
繰延税金資産	6,903	12,384
その他	31,709	62,319
貸倒引当金	△487	△372
流動資産合計	1,277,755	1,294,601
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,737,971	11,752,938
土地	6,238,098	6,238,098
建設仮勘定	24,184	—
その他（純額）	444,307	524,856
有形固定資産合計	18,444,562	18,515,892
無形固定資産		
借地権	2,613,299	2,613,299
商標権	568	550
施設利用権	16,268	15,995
ソフトウェア	4,658	18,457
無形固定資産合計	2,634,794	2,648,302
投資その他の資産		
投資有価証券	4,822,888	4,657,287
長期前払費用	569,964	567,838
繰延税金資産	20,127	—
その他	32,733	33,393
貸倒引当金	△2,694	△2,694
投資その他の資産合計	5,443,019	5,255,824
固定資産合計	26,522,376	26,420,020
資産合計	27,800,131	27,714,622

(株)歌舞伎座 (9661) 平成26年2月期 第1四半期決算短信

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,752	556,495
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	23,000	177,250
未払金	625,737	190,000
未払法人税等	6,926	17,659
前受金	330,323	397,959
賞与引当金	11,402	12,092
1年内返還予定の預り保証金	30,000	30,000
その他	40,719	60,072
流動負債合計	1,295,861	1,441,529
固定負債		
長期借入金	2,477,000	2,322,750
長期未払金	136,470	117,270
長期前受金	14,371,257	14,298,054
繰延税金負債	287,705	269,312
退職給付引当金	37,549	39,631
長期預り保証金	204,573	261,219
その他	—	23,373
固定負債合計	17,514,555	17,331,611
負債合計	18,810,416	18,773,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,365,180	2,365,180
資本剰余金	3,256,073	3,256,367
利益剰余金	2,499,490	2,559,822
自己株式	△265,409	△267,699
株主資本合計	7,855,334	7,913,670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,134,380	1,027,811
その他の包括利益累計額合計	1,134,380	1,027,811
純資産合計	8,989,715	8,941,481
負債純資産合計	27,800,131	27,714,622

(株)歌舞伎座 (9661) 平成26年2月期 第1四半期決算短信

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	233,311	1,413,917
売上原価	190,690	1,088,634
売上総利益	42,620	325,283
販売費及び一般管理費		
人件費	64,905	71,287
賞与引当金繰入額	1,448	3,459
退職給付費用	1,087	5,850
租税公課	2,501	3,183
減価償却費	745	1,507
その他	31,634	64,569
販売費及び一般管理費合計	102,322	149,857
営業利益又は営業損失(△)	△59,701	175,426
営業外収益		
受取利息	1,690	33
受取配当金	15,067	14,777
協賛金収入	—	5,720
その他	1,481	3,857
営業外収益合計	18,238	24,388
営業外費用		
支払利息	1,200	9,607
その他	103	1,239
営業外費用合計	1,303	10,847
経常利益又は経常損失(△)	△42,765	188,967
特別利益		
固定資産受贈益	5,000	3,100
特別利益合計	5,000	3,100
特別損失		
投資有価証券評価損	11,999	—
有形固定資産除却損	6,060	—
特別損失合計	18,060	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△55,826	192,067
法人税、住民税及び事業税	547	15,905
法人税等調整額	△19,293	55,285
法人税等合計	△18,745	71,190
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△37,080	120,877
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,080	120,877

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△37,080	120,877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△95,934	△106,568
その他の包括利益合計	△95,934	△106,568
四半期包括利益	△133,015	14,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△133,015	14,308

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 会計方針の変更等

当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日至平成25年5月31日)	
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	
従来、当社及び連結子会社は、有形固定資産の建物及び構築物（平成10年4月1日以降に取得した建物を除く）、機械装置及び運搬具、並びに、工具、器具及び備品の減価償却方法について定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。	
当社及び連結子会社は、長期安定的な収入をもたらす賃貸不動産を所有しており、減価償却について、賃貸収益に対応する費用は賃貸期間にわたり均等に配分することが、より適正な費用配分となり、経営の実態を適切に表現できると判断したことによるものであります。	
この変更により、従来の方法によった場合と比べ、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ132,972千円増加しております。	

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	不動産 賃貸事業	食堂・飲食 事業	売店事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	137,340	84,969	11,000	233,311	—	233,311
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	34	52	87	△87	—
計	137,340	85,003	11,053	233,398	△87	233,311
セグメント利益又は損失(△)	31,240	△3,127	2,086	30,200	△89,901	△59,701

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△89,901千円は、セグメント間取引消去△47千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△89,854千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	不動産 賃貸事業	食堂・飲食 事業	売店事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	429,331	250,287	734,298	1,413,917	—	1,413,917
セグメント間の内部売上高 又は振替高	56,788	621	200	57,610	△57,610	—
計	486,119	250,909	734,498	1,471,527	△57,610	1,413,917
セグメント利益又は損失(△)	201,296	△38,642	148,224	310,879	△135,452	175,426

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△135,452千円は、セグメント間取引消去△4,172千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△131,280千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載の通り、当社及び連結子会社における有形固定資産の減価償却方法を変更しております。

これにより、従来の方法によった場合に比べて、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益は、不動産賃貸事業で126,106千円、食堂・飲食事業で4,569千円、売店事業で1,949千円それぞれ増加しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。